

4月8日にプランクトン調査（播磨灘）を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒の原因となるアレキサンドリウム属の出現は確認されませんでした。
- ・魚毒性を示す有害プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・コシノディスカスの出現は確認されませんでした。
- ・ユーカンピアの出現は確認されませんでした。
- ・ノクチルカ シンチランス（夜光虫）が播磨灘の広い範囲で薄く確認されました。

なお、小豆島北部、KA1、T3 付近では着色域も見られました（最高 450 細胞/mL）。

表：2025 年 4 月 8 日 プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	アレキサンドリウム属	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	コシノディスカス属	ユーカンピア
千振	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
妙見	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA1	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA2	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA3	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA4	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA5	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA6	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
K1	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
K2	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0

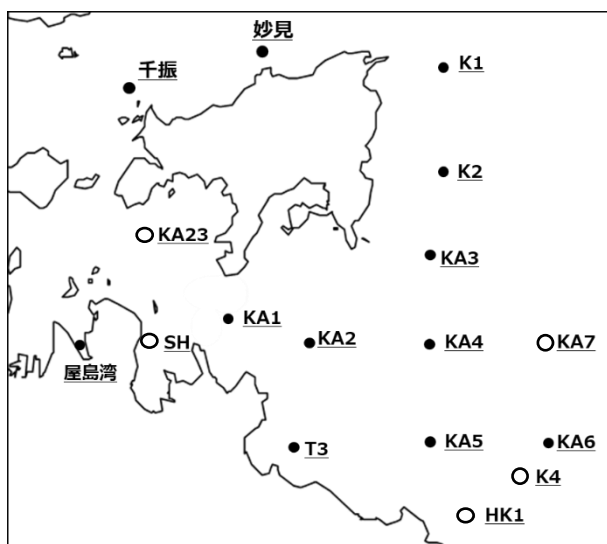
* 試水は 200mL を 10 mL に濃縮して、そのうち 1 mL 中のプランクトンを計数しています（20 倍濃縮）。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当: 吉田・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課総務・豊かな海づくりグループ(担当: 澤田・秋山) 電話 087-832-3474

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



* 貝毒プランクトン調査は合計 10 定点 (KA1～6、K1、2、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
At complex (旧) <i>A. tamarense</i> (旧称)アレキサンドリウム・タマレンセ	—	5 細胞/mL
At complex(旧) <i>A. catenella</i> (旧称)アレキサンドリウム・カテネラ	—	50 細胞/mL